

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



故郷は遠きにおいて思うもの

月曜日のジブリパークの遠足は、写真がまとまり次第、またダイジェストムービーの形にして紹介する予定です。

その遠足を終えた後、私はそのままセントレア空港に向かいました。

向かった先は、北海道です。

その日から3日間出張で愛知を離れていたこともあり、昨日学校につくと「先生この前はどこ行ってたのー？」と沢山の子に尋ねられました。その時の様子を朝教室でも話したので、こちらでも補足してみます。

今回は右のような大規模の公開研究会があり、そこでの飛び込み授業と講演を依頼されたため、北海道の奈井江町という町に行ってきました。

場所で言うと、札幌市と旭川市の間地点に位置する町です。

昨日は丁度新嘗祭の日でしたが、その日に合わせて皇室に献上する「献上米」という由緒正しきお米を作っている町でもあります。

令和4年度
奈井江町教育振興会指定公開研究会

奈井江町立奈井江小学校
公開研究会

2022
11/22(火)

研究主題
確かな学力を身に付け、
自ら進んで活動する子どもの育成
～化者との対話・自己との対話を通して～

公開授業

【低学年ブロック】 2年1組 算数 「かけ算九九のきまり」 授業者 大野 直規	【高学年ブロック】 6年2組 算数 「比」 授業者 神田 法人	【特別支援ブロック】 生活単元 「スペシャル藤組タイム」 授業者 大崎 智美 池田 裕樹 相川 正志
--	--	---

日程 受付 10:40～

11:10～ 渡辺道治先生による公開授業 (体育館)
総合的な学習の時間 (SDG's)
「世界とつながる私の買い物」
※コロナの状況によって入場順が異なります。

12:55～ 公開授業 (町内振興会会員のみの公開)
2年1組… 2年教室
6年2組… 6年2組教室
藤組… 体育館

14:00～ 分科会 (町内振興会会員のみの公開)
(体育館)

14:50～ 渡辺道治先生講演 (体育館)
子どもの主体性を育てる学習指導
～「足並みバイアス」を乗り越えて～

特別講師
渡辺道治先生
瀬戸SOLAN小学校 教諭
2006年北海道教育大学卒業。小学校教員の仕事の傍ら、講演活動、福祉施設や区産施設での読書活動、書籍・雑誌・新聞等の執筆活動を展開する。ユネスコや JICA によるアジアを中心とした国際交流事業や、初等教育支援 能力向上プロジェクト (PAME) においてアフリカの教育支援にも携わるなど内外において積極的に活動中。著書に『学習指導の「足並みバイアス」を乗り越える』(学事出版)、『生徒指導の「足並みバイアス」を乗り越える』(学事出版)、『心を育てる「語り」』(東洋館出版社)、『880型編組器』(東洋館出版社)、など。

奈井江町立奈井江小学校
住所 空知郡奈井江町空室井江142番地
TEL (0125)65-2108 FAX (0125)65-2811
mail nsvyou-es@p3c.nskwak.com

参加のお申し込みはこちらのQRコードよりお願いいたします。
締め切り 11/4(金)

ちなみに、「飛び込み授業」とは、その日初めて対面する子どもたちに行う授業を指した言葉です。

別の学校や別の学級に、他校から来た先生が「飛び込んで」いきなり授業を行うことから、教育業界ではこのように呼ばれるようになりました。

セントレアから新千歳に到着するまでのフライト時間は約 1 時間半。

その時間を使って、私は奈井江小学校の子どもたちの名前を覚えることにしました。

授業を行う予定になっていたのは、6 年生 2 クラス約 50 名です。

その子達の顔写真と名簿を事前に貰っておき、機内でそれらを見ながら名前と顔を全員分記憶していきました。

飛び込み授業を行う際は、これを毎回必ず行っています。

日頃からの関係が構築されているわけではなく、その日に「初めまして」の状態から始まる授業だからこそ、「その子の名前を覚えておく」ということは大きな意味を持ちます。

「初対面で自分たちの名前を全員分覚えてくれている」ということが、子どもたちにとっては大きなプレゼントになるからです。

名前を覚えることは、「心の把手をつかむこと」とも表現されたりします。

自分の名前をきちんと憶えてくれている相手に対して、人は心を開きやすくなるものです。

その相手に対して親しみや安心感を覚えるからです。

授業中に何らかの発表に対して声をかける際も、

「素晴らしい意見ですね」と褒められるのと、「〇〇さん、素晴らしい意見ですね」と名前を呼ばれて褒められるのでは、大きな違いがあります。

初めて子どもたちと対面する瞬間のことを思い描きながら、私は機内で写真を見つつ、彼らの名前を呼ぶ練習をしました（もちろん心の中で、です）

着陸する頃には全員の名前が頭に入り、これで授業の準備は整いました。

新千歳空港に着くと、先方の小学校の校長先生がすでに迎えに来てくださっていました。

そこから 100 km ほど車で北上し、奈井江町に到着。

旅館で一泊してから、翌日の授業本番を迎えました。

会場となる体育館には教育長さんや副町長さんをはじめ、教育委員会の方々や大勢の先生方が詰めかけておられました。

その方々が見つめる中、いざ始まった飛び込み授業。

事前に覚えた子どもたちの名前を呼びながら、少しずつ関係を作りつつ、授業を行っていきました。

と、こんな話を昨日の朝子どもたちには伝えたところです。

3月に移住してきて以来の帰郷は、非常に感慨深いものがありました。

沢山の方から「おかえり」と言っていたら、この8カ月間のことをいろいろ振り返りながら胸がいっぱいになりました。

ちなみに、帰った時のお土産には、コスモスハーモニーで教えていただいた赤福を買っていきました。(一日ではなかったので「朔日餅」はまた今度の機会を狙っておきます)

講演会でも、このコスモスハーモニーに寄せられた様々なお便りだけでなく、SOLANのお家の方々の様々な温かいサポートについてもお話してきましたが、会場に詰め掛けた方々は何度も驚きの声を漏らしていました。

久しぶりに故郷で過ごす時間は、愛知県での日々をじっくりと振り返る良い機会にもなり、改めて感謝の気持ちがじんわりと湧いてきたところです。

今後もSOLANでの経験について話す機会が各地で予定されているので、全国の皆さんにこの素敵な学び舎のことを大いに語ってきたいと思います。

今回も、お便りをいくつか紹介させていただきます。

いつもコスモスハーモニーを楽しませていただいております。

スポーツフェスティバル・ハロウィン・城山公園・ジブリパーク等、たくさんの行事を企画してくださり、子どもだけでなく親までワクワクの毎日です。

先生方が当日に向けて、安全面はもちろん子どもたちが楽しめるよう、たくさん考えてくださっているんですね。写真や動画も見応えがあり本当にありがとうございます。

先日のコスモスハーモニーを読んで、早速えみ先生にプリントをお願いしました。プリントだけでなく、子どもが何を苦手に行っているかも詳しくお伝えくださいました。

その際、ご丁寧なメールをいただき子どもだけでなく保護者のことも大事

にしてくださっていることが伝わり、とても嬉しかったです。

自由に授業見学ができることは、保護者にとってありがたい環境なのですが、先生や子どもの邪魔になっていないか心配な部分もあります。

えみ先生が、「お忙しいと思いますが、お母さんだけでなくお父さんもいつでも授業見学来てくださいね」と温かいお言葉をかけてくださいました。隠すことのない授業（当然のことのようですが、保護者に見られる授業と見せる授業は違う）を日々されていることは本当に素晴らしいなと感じました。

何回か授業見学をさせていただいて感じたのですが、見学時に保護者に名札を付けてもらうようにするのはいかがでしょうか。

先生方も子どもたちも、誰か分からず不安な部分があると思いますし、不審者対策にもなると思います。是非ご検討お願いします。

様々な行事への素敵なフィードバックをありがとうございます。

一つ一つのイベントは、ほとんどがゼロから創り上げているところであり、こうして励ましや感謝の声を届けてもらえるだけで一気に疲れが吹き飛ばす感じがします。

また、授業見学についても温かい気遣いと前向きなご提案をありがとうございます。

名札の件については、すでに管理職や事務の担当の方にもお伝えして検討してもらっているところです。

お家の方の前向きな意見をもらいながら、こうやって一步步学校ができていくその過程を、共に楽しみたいと思います。

素敵なお便りをありがとうございました。

図書館行かれたんですね！気に入っていただけで良かったです！！

シンプルにこのようなメッセージもいただいています。

メディアコスモス、本当に素晴らしい図書館でした。

すでに上の娘はリピートを希望して、この前友達と2回目の来訪を楽しんだところです。

愛知県のこと、東海圏のこと、ぜひまたいろいろと教えて下さい。先輩方に学んで、この地のことをさらに深く知っていきたいと思っています。

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)